

未来のフォレスターを育てる(第2弾)

～4者連携で森林整備実習を実施～

令和8年8月28日(金)、上川北部森林管理署、上川総合振興局北部森林室、下川町及び下川町森林組合の4者共同により、旭川農業高等学校森林科学科2年生を対象とした「林業の担い手育成」を目的とする野外実習を下川町有林で実施し、トドマツ人工林の枝打ち作業と精油の原料となるトドマツの葉採取を生徒たちに体験してもらいました。

各機関の職員が講師となり、森林整備の目的や作業時の安全確保について説明した後、実際に枝打ち作業を実施しました。生徒たちは、木材の品質向上や健全な森林づくりのために欠かせない作業であることを学びながら、丁寧に枝を切り落としていました。また、トドマツの葉採取では、森林資源が木材利用だけでなく、芳香成分や地域産業など幅広い分野で活用されていることについて理解を深めました。

参加した生徒からは、「教科書で学んだ作業を実際の森林で体験できて理解が深まった」「ノコを使ったのは初めて。林業の仕事を知る良い機会になった」といった感想が聞かれました。

指導を担当した当署職員からは、「生徒が積極的に質問をしながら真剣に作業へ取り組む姿が印象的だった。実際の森林での体験を通じて、森林整備や林業の役割への理解を深め、将来の進路選択の一助となればうれしい」との声がありました。

今回の野外実習が生徒達の森林・林業への理解を深めるとともに、将来の地域林業を支える人材育成につながる貴重な機会となったら幸いです。今後も関係機関と連携しながら、次代を担う若者に森林・林業の魅力を伝える取組を進めてまいります。



視界がだいぶ良くなりました



真剣な眼差しで説明を聞く生徒



枝打ち作業に夢中です



この機会を通じて、
将来は森林や林業関係の職種に就いてくれたらうれしいな！

トピックス

道警と連携！山の日啓発イベント

8月11日の「山の日」、北海道森林管理局広報ワーキングチームメンバーである当署職員が、北海道警察と連携した山岳遭難防止啓発イベントに参加しました。来場者へ安全登山の呼びかけを行うとともに、国有林の役割や森林づくりの取組を紹介する豆本等を配布し、国有林のPR活動を実施しました。関係機関との連携により、多くの方へ効果的に情報発信する機会となりました。

業務をもっと便利に！～デジタルツール活用勉強会を実施～

令和8年8月7日(金)、上川北部森林管理署及び森林技術・支援センター合同による勉強会を開催しました。当日は、業務の効率化や情報共有の向上を目的として、Microsoft Teams、Microsoft Forms、QGISの基本的な操作方法や活用事例について学びました。参加者は実際に操作を行いながら理解を深め、オンライン会議やアンケート作成、地理情報の活用に関する知識を習得しました。今後もデジタル技術の活用を推進し、より効率的で質の高い業務運営につなげていきます。

北海道森林管理局 Instagram も開設！



各署の取り組みを随時掲載中！みんなのいいね！してね

<上川北部森林管理署>

北海道上川郡下川町緑町21番地4

☎ 01655-4-2551

<北海道森林管理局 HP>

北の森漫画も公開中！

